

科目名	電子工学セミナー Seminar in Electronic Engineering			担当教員	全教員		
学年	4年	学期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	12E04_30660	単位区別	履修
学習目標	5年生との交流を通して、研究方法や研究結果が先輩から後輩へスムーズに引継がれ、研究の継続が効率よく行われることを目的とする。学習成果あるいは研究成果を報告書としてまとめ、それを口頭発表する。これらのプロセスを通して、電子工学の先端知識および技術を習得するとともに、実務や新しい問題に創造的に立ち向かう方法や能力を養うことを目的としている。						
進め方	指導教官の下で卒業研究の準備として、参考書や学术论文の輪読または学生自身がテーマを設定して研究を行う。翌年度の四月、卒業研究の時間にセミナーの成果と卒業研究の研究計画を、電子工学科の全教員とクラスの学生の前で口頭発表する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	全学生は、年度末に報告書を提出する。翌年度の4月中旬にはセミナーの成果と卒業研究の計画について口頭発表を行う。 【平成23年度研究テーマの例】 1. VHDLを用いた回路の設計製作実験教材の開発 2. 塩水振動子 3. PHPを利用したスケジュール管理システムの実現について 4. 6自由度柔軟関節肩義手（SDP.ロボットアーム 1.45Kg）の顔面方位制御システムの開発 5. 赤外線スペクトルイメージングに関する研究 6. 新しい眼底カメラ開発に関する研究 7. 電子線直接描画（EBDW）による極微細加工に関する研究 8. 論理回路の検査に関して 9. γ 線検出器の開発 10. 有機薄膜とデバイスの作製 11. 強化学習に関する研究 12. 電子掲示板システムの高度化について			学んだ分野の基礎知識を身につけている D2:2 自ら学ぶことができる D5:1 継続して学習などに取り組むことができる E6:1			
評価方法	各指導教員が学生それぞれのセミナーに対する取り組み方、学習効果あるいは研究成果、報告書等を総合的に評価する。						
履修要件	なし						
関連科目	指導教員や研究テーマごとに異なる。						
教材	指導教員が個別に準備する。						
備考							